

# 令和8年度 社会学類編入学試験

## 【法学】

### 専門科目問題冊子

#### (注意事項)

- ・問題冊子1部、解答用紙2枚が配られているか、確認してください。
- ・これは法学主専攻の試験問題です。あらかじめ届け出ている主専攻と合致しているか、確認してください。
- ・すべての解答用紙の所定欄に、学群、学類、氏名、受験番号を記入してください。これらが正しく記入されていない答案は、採点できないことがあります。
- ・法学の専門科目問題は、【問題1】、【問題2】の2つで構成されています。すべての設問に解答してください。
- ・解答用紙は、【問題1】、【問題2】のそれぞれについて1枚を使用してください。(合計2枚を使用)。なお、解答用紙の第1行目に、解答した問いの番号(【問題1】、【問題2】)を、それぞれ記入してください。
- ・解答欄が足りない場合には、裏面を利用してください。ただし、その場合には、解答用紙の表の最終行に「裏面へ続く」旨記入してください。

【問題1】(私法)

問1 以下で対となっている用語の意味を比較しながら説明しなさい。

- (1) 占有権 ⇔ 所有権
- (2) 物権 ⇔ 債権
- (3) 養子 ⇔ 特別養子
- (4) 時効 ⇔ 除斥期間
- (5) 抵当権 ⇔ 根抵当権

問2 ある取引が「民事の取引」であるか「商事の取引」であるかは、法律上の解釈にどのような影響を及ぼす可能性があると考えられるか。自己の意見を自由に述べよ。

【問題2】(公法)

問1 日本国憲法第21条に定められる「表現の自由」とは何か。その制限可能性も含めて説明せよ。

問2 政治家 X は、自身の政策を自らのソーシャルメディアアカウントで発信していた。その際に、多くのソーシャルメディアユーザーからの批判的なコメントに晒された。X は、これらのコメントは誹謗中傷であると判断して、自らコメントを削除した。そこで、X によるコメントの削除は、日本国憲法第21条に照らして許容されるだろうか。